

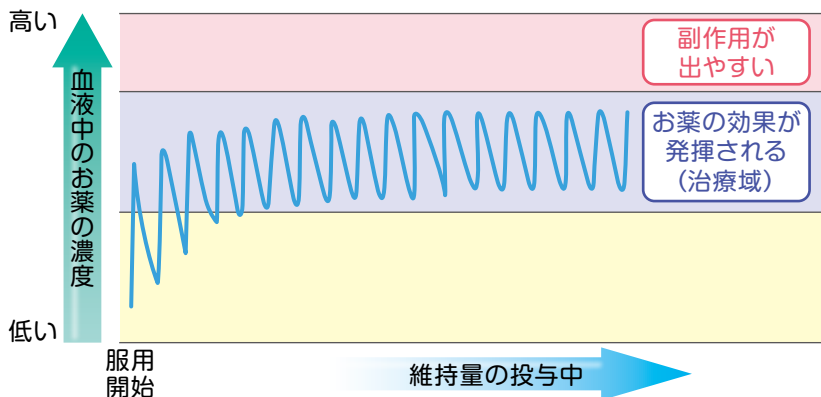
# 炭酸リチウム錠「大正」 を服用される 患者さんご家族の方へ

お薬の効果を十分に発揮させ、  
副作用を防ぐために、  
注意していただきたいことがあります。



# 安全に服用していただくために

何らかの原因で血液中的お薬の濃度が適切な範囲(治療域)を超えると、副作用(中毒症状)が出やすくなります。



十分な効果を発揮し、リチウム中毒の発現を防ぐために、血液中的の濃度を定期的に測定し、お薬の量を調整します。

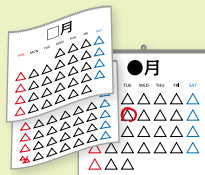
飲みはじめ  
または  
お薬の量を増やしたとき

1週間に1回をめど



お薬の量が  
一定になったら

2～3ヵ月に1回をめど



**Check!**

その他にも、副作用が疑われる症状や、体調の変化があらわれたときなど、必要に応じて測定します。

# 血液中のお薬の濃度が 上がりやすくなる原因について

食事・水分摂取量不足、脱水状態や他のお薬の影響で、このお薬の血液中の濃度が上がりやすくなる場合があります。  
服用中は次のことに注意して下さい。

食事や水分が  
十分とれない  
状態が続いたとき



脱水をおこしやすい  
病気にかかったとき  
(発熱などを伴う場合)



運動や炎天下の  
活動により、過度に  
発汗し、水分補給が  
不十分だったとき



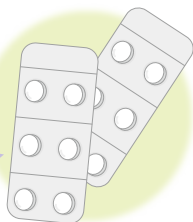
## Check!

このようなときは、リチウム中毒にならないように  
水分・塩分※を適宜補給するようにして下さい。

※：たとえばナトリウムを含む飲み物(スポーツドリンク)など

痛み止め\*、解熱薬\*、風邪薬\*  
などを飲んだとき

\*：非ステロイド性消炎鎮痛剤を含む薬



薬局・薬店で販売されて  
いる薬も含め、非ステロ  
イド性消炎鎮痛剤という  
成分が含まれている場合  
は注意して下さい。

## Check!

他の病気で受診するときや、薬局・薬店で上記のお薬を  
購入するときは、このお薬を飲んでいることを必ず医師  
または薬剤師に伝えて下さい。

# 服用中に注意していただきたい症状について

このお薬は、血液中の濃度が上がりすぎると、次のような症状(リチウム中毒の初期症状)があらわれることがあります。



手足の震え、  
動きづらい、  
ふらつき



吐き気、嘔吐、  
下痢、食欲低下



発熱、発汗



意識がぼんやりする、  
眠ってしまう

など

## Check!

このような症状があらわれたときは、必ず医師または薬剤師に伝えて、指示に従って下さい。

ほかにも、気になる症状やわからないことがありましたら、医師または薬剤師にご相談下さい。



医療機関名・薬局名



大正製薬株式会社

2022年6月作成  
No.66185